



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1998, 71(2):  
222-224

ISSUE DATE:

1998-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96429>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成10年11月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第71巻 第2号

ISSN 0525-2997

**vol.71      no.2**

# 物性研究

**1998 / 11**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
  - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 掲 示 板

### ★「修士論文」募集★

本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。今回も1998年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：1999年3月31日（水） [ 締切厳守 ]
2. 自薦、他薦は問いません。また、教室の推薦を歓迎します。
3. 論文のコピーを2部 お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスをお持ちの場合は、ご記入下さい。

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。例年、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しています。尚、掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、体裁を整えていただく場合があります。現在のところ、本誌はカラー印刷はできません。カラー図版をご自分のホームページに置いていただければ、「物性研究」のホームページからリンクをはることができます。
3. 掲載された論文の著者には別刷50部を寄贈します。

## ★「博士論文解説」の募集★

物性分野の博士論文の自己PR的な解説を募集します。研究をはじめる動機と目的、およびその成果と今後に残された課題などを、専門の異なる研究者にも理解できるように簡潔にまとめて下さい。研究の歴史的な位置付けや異分野との関連性、また失敗談や思いがけない展開、さらにはどの点をどのように創意工夫したかといった観点が、随所に見られるような個性的な解説を望みます。応募に当たっては、以下の要領を参考にして下さい。自薦、他薦は問いません。

1. 募集は、随時おこないます。
2. 原稿は日本語で書いて下さい。
3. 原稿の長さは、A4サイズの写真印刷できる原稿で、10～30頁程度。  
原稿は2部送付して下さい。現在のところ、本誌はカラー印刷はできません。  
カラー図版をご自分のホームページに置いていただければ、「物性研究」のホームページからリンクをはることができます。
4. 原稿中に連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスをお持ちの場合は、E-mail アドレスも明記して下さい。
5. 掲載された解説の著者には、別刷50部を寄贈します。

掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。積極的な投稿を歓迎します。

[問合せ&送付先]

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel: (075)753-7051, 722-3540

Fax: (075)722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

## 編集後記

人間は、大そうな議論をするが、その大部分が空虚でまやかしである。…孤独であることは救われることである。(レオナルド・ダ・ヴィンチ、「人生論」より、岩波文庫)

独創性は、文字通り、個人の魂の営みにかかっている。集団の魂の営みからは、効率や速度ばかりが優先されるのみである。芸術であれ、科学であれ、この点に、異論をさしはさむ余地はない。そして、この主張は、はるかに小さい分子の世界にまで外挿することができる、私は思う。意味や価値の創造を伴う、“生命の起源”の問題である。それはまた、現存する生命においても解明が待たれる、“精神とは何か”といった問題にも通じている。

生命体自らの中に書かれた神秘をどこまで解き明かすことができるか、歴史家によって記載された数千年の歴史概観を教訓にしながら、一步また一步と、歩んでいきたい。

(あした天気にな～れ)

### 【物性研究】

#### 編集長

関本 謙 (京大・基研)

#### 編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)  
佐々木 豊 (京大・理・物理)  
水口 毅 (京大・理・物理)  
山田 耕作 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
武末 真二 (京大・総合人間)  
村瀬 雅俊 (京大・基研)  
小嶋 泉 (京大・数研)

#### 各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)  
本堂 毅 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)  
堀田 貴嗣 (東大・物性研)  
山田 鏑二 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
大野 義章 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)  
松井 淳 (九大・理・物理)  
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

[編集部より] 「物性研究」推奨の Latex 原稿用 テンプレートができました。ホームページの「投稿の手引」欄から、ダウンロードできます。原稿作成時にご利用下さい。

## 編集後記

人間は、大そうな議論をするが、その大部分が空虚でまやかしである。…孤独であることは救われることである。(レオナルド・ダ・ヴィンチ、「人生論」より、岩波文庫)

独創性は、文字通り、個人の魂の営みにかかっている。集団の魂の営みからは、効率や速度ばかりが優先されるのみである。芸術であれ、科学であれ、この点に、異論をさしはさむ余地はない。そして、この主張は、はるかに小さい分子の世界にまで外挿することができる、私は思う。意味や価値の創造を伴う、“生命の起源”の問題である。それはまた、現存する生命においても解明が待たれる、“精神とは何か”といった問題にも通じている。

生命体自らの中に書かれた神秘をどこまで解き明かすことができるか、歴史家によって記載された数千年の歴史概観を教訓にしながら、一步また一步と、歩んでいきたい。

(あした天気にな～れ)

### 【物性研究】

#### 編集長

関本 謙 (京大・基研)

#### 編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)  
佐々木 豊 (京大・理・物理)  
水口 毅 (京大・理・物理)  
山田 耕作 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
武末 真二 (京大・総合人間)  
村瀬 雅俊 (京大・基研)  
小嶋 泉 (京大・数研)

#### 各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)  
本堂 毅 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)  
堀田 貴嗣 (東大・物性研)  
山田 鏑二 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
大野 義章 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)  
松井 淳 (九大・理・物理)  
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

[編集部より] 「物性研究」推奨の Latex 原稿用 テンプレートができました。ホームページの「投稿の手引」欄から、ダウンロードできます。原稿作成時にご利用下さい。

---

物 性 研 究    第71巻第2号 (平成10年11月号)    1998年11月20日発行

発行人    村 瀬 雅 俊    〒606-8502    京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所    昭 和 堂 印 刷 所    〒606-8225    京都市百万遍交差点上ル東側  
TEL (075) 721-4541~3

発行所    物性研究刊行会    〒606-8502    京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

---



## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。**

## 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

## 物 性 研 究 71-2 (11月号) 目 次

### ○研究会報告

「認知・行動の基底としての力学と論理」…………… 127

### ○研究紹介

人間スケールの物理現象 (北大理 三本木研究室)…………… 214

### ○ひろば

第20回統計力学国際会議サテライト

「非線形動力学の確率的・熱力学的側面」に参加して

……………田崎 秀一 …… 219

○掲示板…………… 222

○編集後記…………… 224

## 物 性 研 究 71-2 (11月号) 目 次

### ○研究会報告

「認知・行動の基底としての力学と論理」…………… 127

### ○研究紹介

人間スケールの物理現象 (北大理 三本木研究室)…………… 214

### ○ひろば

第20回統計力学国際会議サテライト

「非線形動力学の確率的・熱力学的側面」に参加して

……………田崎 秀一 …… 219

○掲示板…………… 222

○編集後記…………… 224